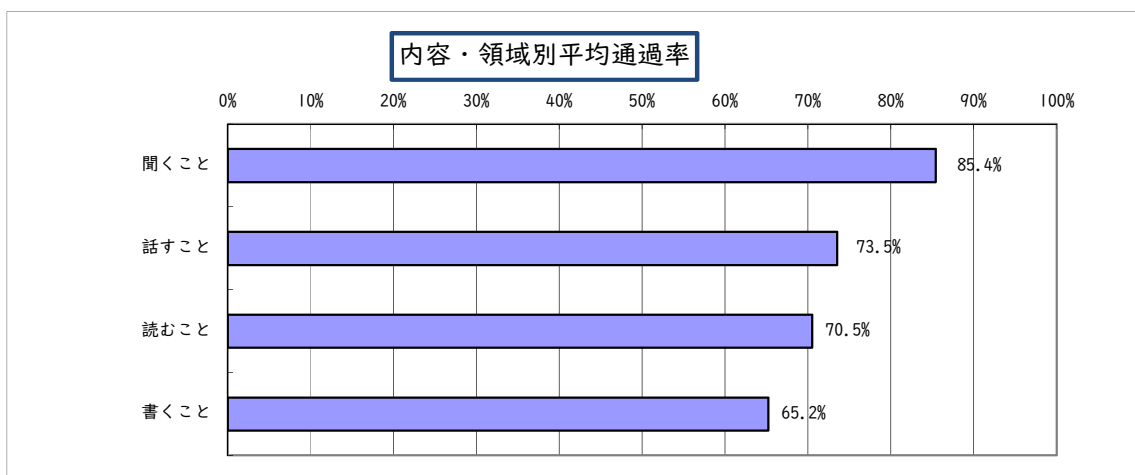
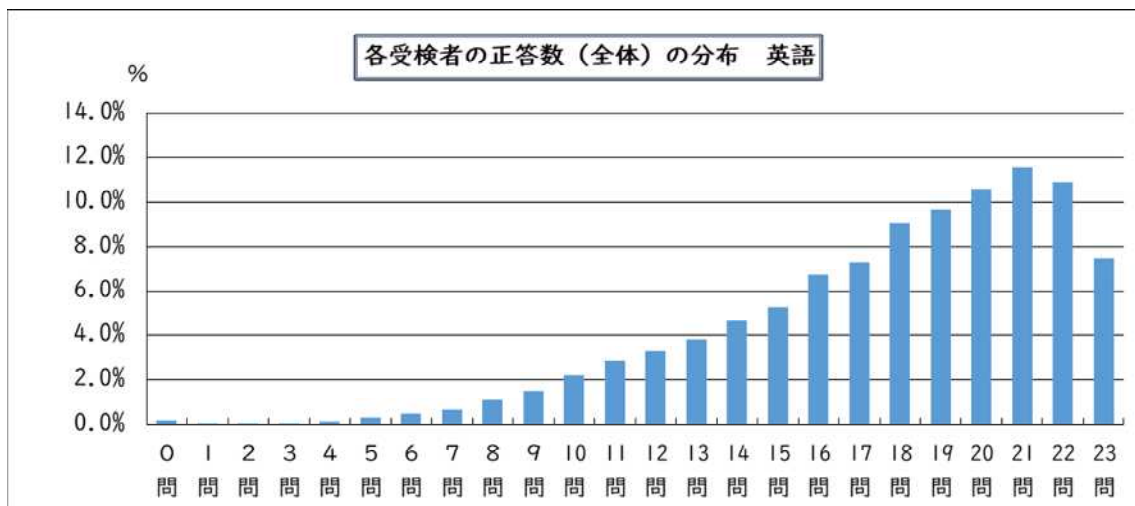


中学校第1学年【英語】

(1) 中1平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率		中1	中2
	知識・技能	78.1%	71.3%
	思考・判断・表現	75.4%	71.3%
	全体	77.0%	71.4%



- 「知識・技能」については、平均通過率が78.1%と昨年度よりも上昇しており、全体として成果が見られつつあります。特に、勧誘を断る表現を選択する問題は、昨年度40.9%だったものが81.2%となりました。一方で、be動詞の否定文の語順を問う問題は44.8%、対話の流れから適切な語を補って文を完成させる問題は58.4%と通過率が特に低く、例年課題となっている内容について改善が図られていない実態も見られます。
- 「思考・判断・表現」については、平均通過率が75.4%と全体として改善傾向にあります。特に、「書くこと」の問題における「コミュニケーションに支障をきたさないように英文を書く視点」は、昨年度58.7%だったものが80.9%となりました。一方で、「メッセージの内容に対して自分の考えを書く問題」は39.4%、「英文の要点を把握し、適切な英文を選択する問題」は54.4%と通過率が特に低く、「知識・技能」と同様に、例年課題となっている内容について改善が図られていない実態も見られます。
- 内容・領域別に見ると、「書くこと」において、平均通過率が昨年度71.3%から65.2%と大幅に下降し、課題が見られます。「知識・技能」、「思考・判断・表現」において課題となっている部分と関連しており、4技能の中でも特に難易度が高い技能に関する出題であることから例年課題となっております。引き続き各学校における粘り強い取組が必要です。

(2) 各設問の分類と平均通過率

英語（中学校第1学年）

	設問			学習指導要領の領域				評価の観点		県平均通過率	県平均無回答率	校内平均通過率	校内平均無回答率	出題の意図
	大問	中間	小問	出題学年	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	知識・技能					
1		(1)		中1	○				○		85.5%	0.1%		英語を聞いて、ノートを閉じる指示を聞き取ることができるか。
2	1	(2)		中1	○				○		95.1%	0.0%		英語を聞いて、複数のものの数とその場所を聞き取ることができるか。
3		(3)		中1	○				○		75.7%	0.1%		英語を聞いて、正しい時刻を聞き取ることができるか。
4		(1)		中1	○	○			○		86.9%	0.1%		所属する部活動を尋ねる質問に正しく答えることができるか。
5	2	(2)		中1	○	○			○		88.0%	0.1%		写真に写った人物について尋ねる質問に正しく答えることができるか。
6		(3)		中1	○	○			○		81.2%	0.1%		勧誘に対して適切に答えることができるか。
7	3			中1	○				○		98.2%	0.0%		家族の紹介を聞いて、話の流れに沿って、内容を捉えることができるか。
8	4			中1	○				○		80.6%	0.1%		自己紹介を聞いて、情報を整理しながら、その内容を捉えることができるか。
9	5			中1	○				○		84.8%	0.1%		対話を聞いて、その概要を捉えることができるか。
10	6			中1	○	○			○		78.5%	0.1%		イベントの説明を聞いて、情報を整理しながら、質問に対して適切に応じることができるか。
11	7			中1			○		○		85.0%	0.1%		メッセージを読んでその内容を把握し、話の流れに合う写真を選択することができるか。
12	8	(1)		中1			○		○		77.5%	0.2%		対話文を読み、代名詞が指す適切な語を選択することができるか。
13		(2)		中1			○		○		64.0%	0.3%		メール文から必要な情報を読み取り、適切なイベントを選択することができるか。
14	9	(1)		中1			○		○		82.1%	0.4%		グラフと選択肢の内容を正確に把握し、グラフの内容を表す正しい英文を選択することができるか。
15				中1			○		○		79.1%	0.5%		
16		(2)		中1			○		○		82.4%	0.4%		はり紙を読み、要点を捉えることができるか。
17	10			中1			○		○		54.4%	0.9%		スピーチ文の内容を把握し、適切な英文を選択することができるか。
18	11			中1			○	○	○		39.4%	14.1%		メッセージの内容を捉え、自分の考えを適切に示すことができるか。
19	12	(1)		中1		○		○	○		44.8%	1.1%		be動詞の否定文を正しい語順で答えることができるか。
20		(2)		中1		○		○	○		76.5%	1.0%		疑問詞を含む疑問文を正しい語順で答えることができるか。
21	13			中1		○		○	○		58.4%	5.8%		対話の流れや文法事項などを理解し、適切な語を補って表現できるか。
22	14	A		中1			○		○		90.9%	3.2%		自分の考えを整理し、まとまりのある英文を書くことができるか。
23		B		中1			○		○		80.9%	3.3%		
計				問題数	10	7	8	6	13	10				
				出題割合	40.0%	28.0%	32.0%	24.0%	56.5%	43.5%				
											77.0%	1.4%		

(3) 英語 <中学校第1学年>

ア 特徴ある問題から 大問10

(中学校学習指導要領〔外国語編〕第2, 1, (2), ウと関連 p21)

学習指導要領解説の該当箇所に、「社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。」とあります。本問題では、AIを搭載したロボットの社会利用を話題とし、要点や文脈を踏まえて筆者の主訴を捉えられるかについて出題したところ、平均通過率が54.4%でした。下の解答のポイントや誤答傾向を踏まえると、内容理解や音読をさせる際に課題があると考えられます。それらを改善するためのポイントを下の「イ」にまとめました。

図 次は、英語の課題に「AI robots」(人工知能ロボット)というテーマでスピーチをすることになったミカが作成したスピーチ原稿です。英文を読んで、に入る最も適切なものを、下のア～ウの中から一つ選び、記号で答えなさい。

Hello, everyone.
Do you know about AI robots? We see them at some restaurants. But my grandfather doesn't like them.
My grandfather has a Japanese restaurant in Kirishima City. He often says, "I want to talk with customers" and say "thank you" with a smile in my restaurant. So I don't want AI robots here."
I like AI robots in restaurants. We can get our dishes* from the robots. They also talk to us. That's very interesting*. Everyone enjoys AI robots there.
I like my grandfather's idea*. But AI robots are nice. They sometimes cook dishes. My grandfather can use AI robots in many ways*.
I want to talk with him about that.
Thank you.

(注) say(s) ～と話す customer(s) 客 with a smile 笑顔で dish(es) 皿, 料理 interesting おもしろい idea 考え way(s) 方法

ア He cooks very well.
イ They're nice restaurants.
ウ We can work with AI robots.

【解答のポイント】

- 1 文章の内容を捉えたか。
- 2 筆者の意向を汲み取ることができたか。
- 3 全体の文脈を踏まえた判断ができたか。

【誤答傾向(予測)】

- ・ まとまりのある文を読むこと自体に苦手意識がある。
- ・ 空欄の直前や直後だけ読み、文脈を読み違えた。
- ・ 筆者の意向を汲み取る読み方ができなかった。

イ 授業改善のポイント

課題が見られた主な問題 大問10 リーディング問題

- 1 初期段で文頭から英語の語順で読ませる習慣づくりをする
英文を単語が出てくる順番で読ませる。(日本語の語順に合わせた「返り読み」をさせない。)その指導を通して、「誰が」「どうした」「何を」「いつ」などの英語特有の語順で英文を理解させる習慣を付けさせ、文構造の理解を促す。
- 2 「大きなこと」から次第に「小さなこと」を読み取らせ、新出事項に出会わせる指導をする(「まず単語から」は逆!)
英文を読ませる際には、Top-down processingの手法を意識し、まず概要を捉えさせる。その後、要点や必要な情報を捉えさせ、次第に細かい部分を確認するなどしながら内容の理解を図る。未習事項や分からない箇所は前後や文脈から推測することも指導し、新出事項や忘却した事項等に出会わせ、疑問をもたせてから指導する授業を行う。また、既習事項の定着を図るために、繰り返し出会わせる工夫も意図的に行う。

課題が見られた主な問題 大問10 リーディング問題

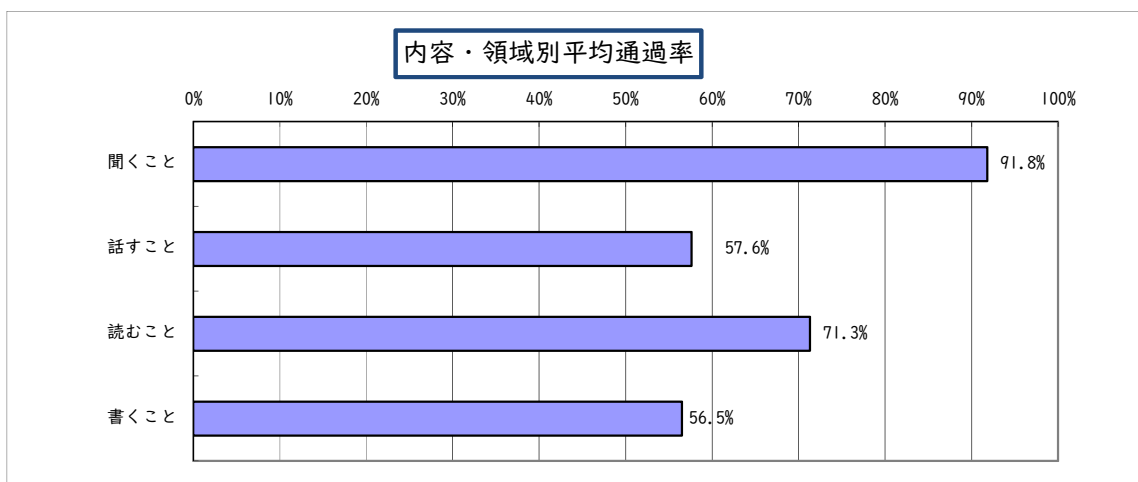
- 3 語の働きや機能、文章構成の特徴などを理解させる
語や連語などについては、意味だけではなく文章中での働きや機能、ニュアンス等を理解させる。また、文章全体や各段落の構成や特徴を捉えさせる指導も確実に行う。
- 4 推論発問やリテリング等を取り入れる
教科書本文の内容理解の最後に、推論発問(直接書かれていないことを推測させる発問)や評価発問(内容に対して自分は思うかを問う発問)、リテリングを通して理解度を確認しながら、表現する力も同時に育成する工夫を行う。
- 5 音読を大切に
教科書本文の内容理解を終えた後のreading aloudを充実させる。(時間が少ないからと短縮しない。)複数の手法を組み合わせ、内容をよりの確に表出するような音読をさせる。

内容理解の際は、いきなり新出単語を扱ったり、文単位で最初から意味をとろうとしたりせず、文章全体を通した大きなもの(概要)から捉えて、次第に小さなもの(内容)を捉えていく読み方をさせましょう。その際、全ての英文を日本語に置き換える必要はありません。また、分からない箇所があったら前後から推測して読ませることに普段から取り組んでおく効果的です。文章の中で新出事項に上手に出会わせ、より効果的な学習過程の工夫を図りましょう。

接続詞の働きなどに注目させ、全体の文章構成を把握させながらその先を推測させる活動も効果的です。また、推論発問を活用して、教科書には書いていない文章の続きや登場人物の心情について、書いてあることを根拠に推測させると、行間を読ませる深い読みにつながります。音読は、内容理解の後にその内容を表出する工夫をさせると、内容理解が更に深まります。しっかり時間を確保し複数の手法(chorus, buzz, read and look up, shadowingなど)を使いながら、感情を込めるなどして内容を踏まえて上手に読める生徒を増やしましょう。

(1) 中2平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率		中1	中2
	知識・技能	78.1%	71.3%
	思考・判断・表現	75.4%	71.3%
	全体	77.0%	71.4%



- 「知識・技能」については、平均通過率が71.3%と全体として成果が見られつつあります。特に、「聞くこと」の問題は3問とも90%を超えており、昨年度結果を大きく上回りました。一方で、「対話の流れから適切な語を補って文を完成させる問題」は35.7%、「与えられた情報に基づいて正確に英文を書く問題」は46.5%、「二つの目的語をとる動詞の語順を正確に答える問題」は58.9%と通過率が特に低く、例年課題となっている内容について改善が進んでいない状況です。
- 「思考・判断・表現」については、平均通過率が71.3%となり改善傾向にあります。特に、「読んで把握した内容について自分の考えを書く問題」は、昨年度47.4%だったものが66.7%になりました。一方で、書くことの問題における「コミュニケーションに支障をきたさないように英文を書く視点」は44.3%、「スピーチの概要を捉え、適切な語を選択する問題」は48.7%と通過率が特に低く、「知識・技能」と同様に、例年課題となっている内容について改善が進んでいない状況です。
- 内容・領域別に見ると、「書くこと」「話すこと」の平均通過率が低く、課題となっています。特に「書くこと」においては、平均正答率が昨年度の55.3%とほぼ同等となっており改善が見られませんでした。例年課題となっておりますが、結果として改善が図られていない状況が続いており、引き続き各学校における粘り強い取組が必要です。

(2) 各設問の分類と平均通過率

英語（中学校第2学年）

設問	設問			学習指導要領の領域				評価の観点		県平均通過率	県平均回答率	校内平均通過率	校内平均無回答率	出題の意図
	大問	中問	小問	出題学年	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	知識・技能					
1		(1)		中1	○				○	96.7%	0.1%			日常的な場面における英語を聞いて、適切な絵を選択することができるか。
2	1	(2)		中2	○				○	95.6%	0.1%			日常的な話題に関する対話を聞いて、適切な絵を選択することができるか。
3		(3)		中2	○				○	94.1%	0.1%			日常的な話題に関する対話を聞いて、適切な絵を選択することができるか。
4	2			中1・2	○				○	90.0%	0.1%			まとまりのある英文を聞いて、概要を捉えることができるか。
5	3			中1・2	○				○	90.6%	0.1%			まとまりのある英文を聞いて、必要な情報を捉えることができるか。
6	4			中1・2	○				○	87.5%	0.2%			まとまりのある英文を聞いて、必要な情報を捉えることができるか。
7	5			中1・2	○				○	88.3%	0.2%			まとまりのある英文を聞いて、要点を捉えることができるか。
8		(1)		中2			○		○	79.1%	0.2%			英文を読んで、接続詞を適切に選択することができるか。
9	6	(2)	①	中2		○	○		○	62.4%	0.3%			文と文のつながりに注意して、適切な英文を選択することができるか。
10			②	中2		○	○		○	65.3%	0.3%			
11		(1)		中2			○		○	48.7%	0.4%			スピーチの概要を捉え、適切な語を選択することができるか。
12		(2)		中2			○		○	81.6%	0.3%			道案内の内容を正確に捉え、適切な絵を選択することができるか。
13		(3)	①	中2			○		○	92.3%	0.4%			グラフの内容を正しく表す英文を選択することができるか。
14			②	中2			○		○	87.4%	0.4%			
15		(1)		中2			○		○	78.9%	0.5%			英文の概要を把握し、その内容を適切に説明しているものを選択することができるか。
16	8	(2)		中2			○		○	51.0%	0.6%			英文の内容を把握し、適切な英文を選択することができるか。
17	9			中2			○	○	○	66.7%	8.4%			メッセージの内容を捉え、自分の考えを適切に示すことができるか。
18		(1)		中2		○		○	○	76.4%	0.7%			have to の用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。
19		(2)		中2		○		○	○	58.9%	0.8%			二つの目的語をとる動詞の用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。
20		(3)		中2		○		○	○	64.9%	0.8%			不定詞の副詞的用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。
21		(1)		中1		○		○	○	35.7%	10.0%			対話の流れや文法事項などを理解し、適切な語を補って表現することができるか。
22	11	(2)		中2		○		○	○	39.3%	10.3%			
23		(1)		中1				○	○	46.5%	8.4%			与えられた情報に基づいて、文法事項などを理解し、正確に書くことができるか。
24	12	(2)		中1				○	○	64.8%	7.7%			
25			内容	中1・2				○	○	67.3%	12.8%			与えられたテーマについて、自分の考えを整理し、まとまりのある英文を書くことができるか。
26	13		正確					○	○	44.3%	12.9%			
計				問題数	7	7	10	10	16	10				
				出題割合	33.3%	33.3%	47.6%	47.6%	61.5%	38.5%				
											71.4%	3.0%		

(3) 英語 <中学校第2学年>

ア 特徴ある問題から 大問13

(中学校学習指導要領〔外国語編〕2, (2), ウと関連 p53)

学習指導要領解説の該当箇所に身に付けさせるべき事項として、「日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。」とあります。本問題では、相手の意向に沿って自分の考えを的確に書くことができるかについて出題したところ、視点B(文の正確性)において平均通過率[44.3%]、無答率[12.9%]でした。下の解答のポイントや誤答傾向を踏まえると、言語材料の導入や言語活動の在り方、フィードバックの在り方に課題があると考えられます。それらを改善するためのポイントを下の「イ」にまとめました。

13 あなたの学校との姉妹校であるオーストラリアの学校の生徒ジャック(Jack)が、家族で鹿児島を旅行する計画をしています。あなたは、ジャックが鹿児島での滞在を楽しめるよう、電子メールでアドバイスしようとしています。下の「ジャックからのメッセージ」を基に、アドバイスを文章を15語以上の英語で書きなさい。ただし、英文は2文以上になってもかまいません。

ジャックからのメッセージ

○ どの季節に鹿児島に行くのがよいか悩んでいるので、教えてほしい。
○ なぜその季節がいいのか、鹿児島で訪れるべき場所やそこでできること、楽しめることなどを紹介しながら、その季節がいい理由を具体的に教えてほしい。

【解答のポイント】

- 1 書く内容について、自分なりの発想があったか。
- 2 発想した内容は適切であったか。
- 3 発想したことについて、適切な英語で表現できたか。

【誤答傾向(予測)】

- ・ 自分が書ける英語の範囲内の文が思いつかない。
- ・ 書いている内容が不自然になっている。
- ・ つづりや文法的なルールに関する事項が定着していない。

イ 授業改善のポイント

課題が見られた主な問題 大問13 ライティング問題

1 言語材料の習得においては場面や文脈の中で出会わせ働きや機能も理解させ、それらを想起させる言語活動を行う

言語材料は、そのみを別途扱うのではなく、**文脈や場面の中で出会わせ**、意味だけでなく**働きや機能を感じられるよう導入**する。その後の言語活動においては、**目的・場面・状況**が確実に設定された活動を行わせ、学習した語や表現を「使う感覚」を伴った活動を通して、言葉として習得させる。

2 例文を示さずには使わせてみる(「Try and Error」)

例文を見たまいくら繰り返しても、効果的な定着は望めない。始めは**間違いを繰り返しながら使用させ、何度も思い出させながら徐々に定着を図ることが大切**である。
キーワードやヒント等を示す場合は、「**示しすぎ**」に注意する。始め示したのも、徐々に取り除いて最終的には自分の力で表現させるよう**段階を設定**する。その際、取り組み方や最終的な表現の個人差に応じた**個別最適な学び**を展開する。

課題が見られた主な問題 大問13 ライティング問題

3 既習の表現等を何度も使わせる場を設定する

既習表現等を繰り返し使わせる場合は、定着度が低いもの、使用頻度や必要性が高いものを優先する。教科書にある活動をアレンジしたり、**タスク活動や帯活動**を設定したりするなどして、何度も使わせる場を意図的に創出する。始めは「**Try and Error**」の精神で、とにかく話すこと、書くことを奨励し、**エラーの分だけ正確性が上がることを意識させた活動**を行う。

4 フィードバックを工夫し正確性を上げる

正確性については、まずは大きな(重大な)エラーから自分で修正できるよう、修正の視点等を与えながら指導し、次第に小さな(些末的な)エラーまでなくなることを目指す。その際、エラーを**明示的**(教師が言う)あるいは**暗示的**(生徒に気付かせる)に示すなど、状況に応じて効果的になるよう工夫する。併せて、表現の「**正確さ**」と「**流暢さ**」のバランスについては、生徒の意欲等を踏まえて**教師がコントロール**する。(エラーを気にしない→エラーを○程度にする→エラーがほぼない)

単語や基本文はそれだけを切り離して単独で扱わずに、本文の流れの中で出会わせて、そこから必要に応じて取り出して掘り下げましょう。活動をさせる際は、始めはワークシートや○○カード等の補助が必要ですが、それらは徐々に取り除きながら最終的には生徒が自分で活動できるようにしましょう。ヒントの示しすぎや補助の常態化は、生徒の自走の妨げになっている可能性がある所以要注意です。教師も生徒も「Try and Error」の精神で、まずはやってみる、くじけず何度もすることが大切です。

定着に向けては反復が鍵になりますが、扱える回数等には限界があるので、優先度の高い順に効果的な繰り返しができるよう、単元を貫く Large Task や帯活動等を取り入れ、意図的に指導しましょう。正確性については、生徒が自分で修正できるようになることを目指して、明示的にはっきりと修正する内容や暗示的に気付かせる内容等を使い分けて、フィードバックを工夫しましょう。その際、正確さを気にしすぎて表現そのものが滞ることを避けるようにするなど、流暢さと正確さのバランスをとることに留意しましょう。